

# 浜松版MaaS構想

## 中間整理（案）

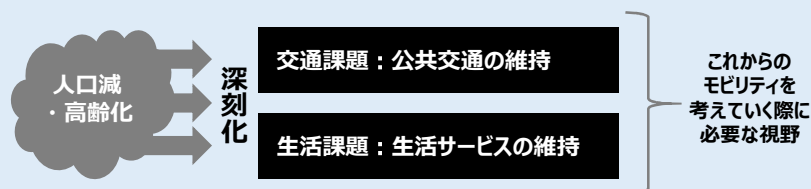
Digital Smart City HAMAMATSU

令和2年9月10日時点



## 浜松市の現状と課題

- 人口減少・少子高齢化を背景とし、公共交通の維持をはじめとした交通課題に直面している。生活サービス（買物や医療等）の維持も大きな課題であり、各種サービスとモビリティの連携による持続可能なまちづくりが求められている。



- 本市は「デジタルファースト宣言」のもとデジタル・スマートシティの取組を始動。データ活用等でMaaSの取組との連携が求められている。



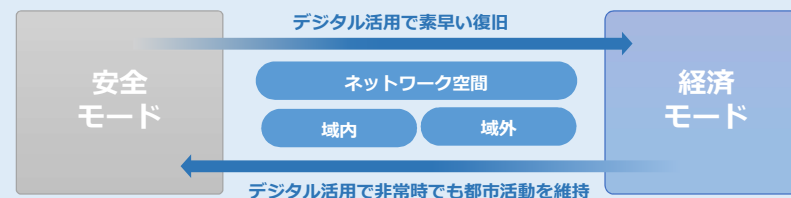
## 関連動向

- 国は、骨太の方針で、東京一極集中型から「多核連携型」への移行を掲げ、地方都市の活性化に向けた環境整備の推進を位置づけている。移動環境の整備は重要施策の一つであり「自家用有償旅客運送制度の創設」や「日本版MaaSの推進」等の取組が成長戦略に位置づけられている。

### 日本版MaaSの推進 (成長戦略)

- ① 地域における移動手段の維持・活性化
- ② モビリティと物流・サービスとの融合（自家用有償旅客運送の円滑な実施等）
- ③ 新しいまちづくりとモビリティ
- ④ データ連携の加速

- 「Withコロナ/ポストコロナ時代」の「ニューノーマル」に対応した新たな環境整備の一つである「デュアルモード社会」の構築も求められている。



交通領域にとどまらず市民の生活全般に関わるテーマとして捉えた新たな発想のMaaSが求められている。新発想のMaaSを実現するための指針やルールを、交通領域にとどまらない様々なプレイヤーと共有、共創するため「浜松版MaaS構想」を策定する。

構想策定にあたっては、本市ならではの強み（リソース）を活かします。

### 強み①

#### 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境

- 都市部・郊外・中山間地域と、様々な暮らし方・楽しみ方ができる自然環境（国土縮図型都市）。
- 新幹線や高速道路等、近隣都市圏とのアクセスが便利な交通環境。



### 強み②

#### 市民・企業のやらまいか精神や共助の心

- 「やってみよう」「やってやろうじゃないか」と、新しいことに果敢にチャレンジする精神、そして浜松を誇りに思い、互いに助け合う心（シビックプライド）が、オープンなイノベーションの土壌に。



### 強み③

#### ものづくり力

- 世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカーが集積しており、また同時にスタートアップグローバル拠点都市でもある。大企業～スタートアップの共創・創発が生まれやすい環境。



## ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と、浜松の暮らしはもっとかがやく

人口減少・少子高齢化で限られたリソース（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。  
さらに、“繋ぐ”ことで価値を増幅し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。

### 必要な視点 1

#### 地域ごとの魅力の最大化

- 都市部から中山間地域まで多様な暮らし方・楽しみ方ができる本市の多様な魅力を最大化します。



例えば…

- ◆ 豊かな文化を享受する都市の暮らし
- ◆ 自然に囲まれた田舎暮らし
- ◆ 大都市圏との二拠点生活

### 必要な視点 2

#### ともに支え、ともに創造

- 人々の移動や地域を“ともに支え”、様々なモビリティサービスを創出することでより豊かな暮らしを“ともに創造”します。



例えば…

- ◆ 自家用有償旅客など、公共交通事業者だけに依存しすぎない市民も参加しての移動環境づくり
- ◆ アイデアソン等、みんなで考える機会の設置

### 必要な視点 3

#### しなやかに繋がる

- 利用者目線のシームレスなサービスや自然災害・パンデミックへの備えなど、しなやかに繋がる地域を構築します。



例えば…

- ◆ 技術ありきではなく、市民の生活ニーズから発想（デジタルテクノロジーはあくまで手段）
- ◆ ヒトだけでなく、モノ・コトの移動も包括的に

喫緊の課題への対応（ペインキラー）と、未来へのチャレンジ（ムーンショット）の2つのアプローチを組合せ



市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」  
浜松市未来ビジョン実現への貢献



## ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”ことで浜松の強みを最大化

多様な暮らし方  
(多様性)

市民・企業の共助／共創  
(助け合い)

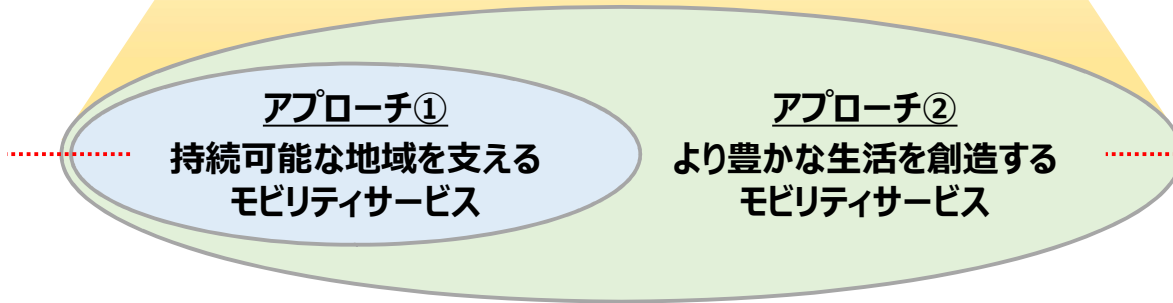
ものづくり力  
(クリエイティビティ)

(ペインキラー)

“交通・生活課題”  
の解決や  
“安全・安心”な  
暮らしの確保

(ムーンショット)

“賑わい・ワクワク”  
を増進



アプローチ①

持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

アプローチ②

より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

蓄積

活用

モビリティサービス利用データ／人流データ

デジタル・スマートシティのデータ

デジタル・スマートシティの  
取組と連携し、  
データ利活用を促進



**アプローチ①**  
持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

**アプローチ②**  
より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

“交通・生活課題”の解決や、“安全・安心”な暮らしの確保

## 移動販売

移動販売で浜松の特産物をお届け。買い物に出かけるのが難しくても安心。キッチンカーの普及で気軽に開業！



自然災害やパンデミックで移動が制限されてもドローン等の活用で都市機能を維持。

デュアルモード社会づくりへの貢献

## 異なる交通手段の連携や 一体的運用・運営

公共交通、自家用車、自転車、徒歩等を連携させて移動の効率化を促進。



## 移動診療

移動診療車を活用し、ICT機器で医師と繋ぎ遠隔診療。服薬指導もオンライン。薬剤配送はドローンにおまかせ！



## 自家用車を使った乗り合いの促進 （自家用有償旅客運送等）

公共交通の維持が困難な地域を中心に、住民が自家用車を用いて共助型のサービスを導入。



## 遊休モビリティ資産の活用

福祉施設の送迎車両やスクールバスなど、遊休時間のあるモビリティの活用で通院や買い物も安心。



## 移動や人流データの活用・見える化 （公共交通の効率化、アプリ活用など）

モビリティサービスの利用データや、ビーコン等で収集された人流データ等の活用で効率的に都市交通をマネジメント。



アプローチ①  
持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

アプローチ②  
より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

“賑わい・ワクワク”を増進



家にも本場のレストランの味  
や様々なサービスを楽しめる。  
パンデミックでも飲食店等のデュ  
アルモードをサポート。

フードデリバリープラットフォーム構築



商業施設との連携

移動履歴データを元に、クーポンを配  
信したり、サイネージにリコメンド情報  
を表示。ポイントシステム等との連携も促  
進し、地域を活性化。

自動運転車の活用

自動運転で移動の車中も  
車窓からの景色や映画など、  
楽しみがアップ。忙しいときは、  
移動中もリモート会議。



観光資源との連携

点在している観光資源もモビリティで  
繋がることで活性化。  
異なる移動手段と観光施設がセット価格で  
利用できお得で安心。



Withコロナ/ポストコロナ時代  
は、リモートワーク等の普及で、  
生活拠点をマルチ化する人  
が増加。

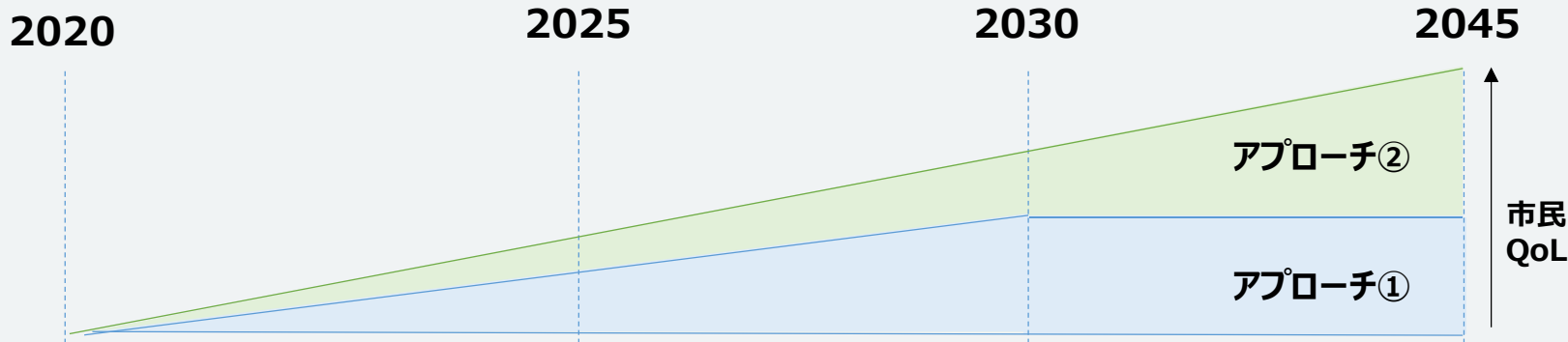
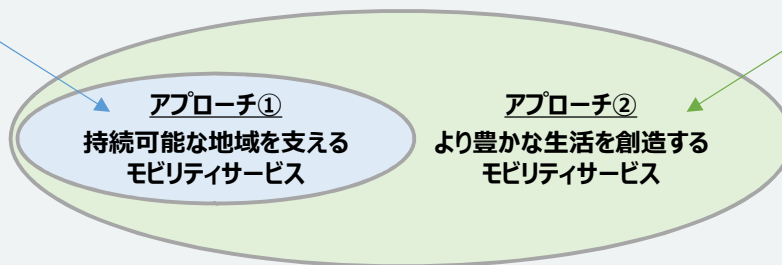
自然に囲まれた環境でストレス  
フリー。

宿泊施設、新幹線、市内の移動もセット  
価格（サブスク）でお得で安心。

多拠点生活用サブスクMaaS  
（関係人口向けの移動環境）



交通・生活課題の解決から取り組み、モビリティ×サービスの連携分野やデータ利活用を拡大していく



“交通・生活課題”を解決



“安全・安心”の確保



“豊かさ・賑わい”を増進





市民・企業の主体的参加で創発性の高いエコシステム形成



## エコシステム形成の中核施策

### 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム



同コンソーシアムを中核とし、官民共創による地域課題解決や地域活性化に資するサービスやソリューションを創出します。

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 共同幹事     | 浜松市、遠州鉄道株式会社、スズキ株式会社            |
| アドバイザー会員 | MONET Technologies株式会社          |
| 一般会員     | 設立目的に賛同し、共にモビリティサービスの社会実装を目指す会員 |

## 段階的に導入していく施策例

### 市民参加の促進

市民ワークショップの開催や、市民×企業の共創を促進するクラウドファンディングなどの促進。



### 情報発信

浜松版MaaSの取組（PoC等）について、市内外に向けて積極的に情報発信。

